

## ～ 会派の活動を報告します ～

### 政友会

当会派では、12月24日に、茨城県営業戦略部の富田立地整備課長並びに同課の本橋事業調整室長を招き、現在、茨城県が推し進めている「未来産業基盤強化プロジェクト」について研修会を開催しました。研修会では、圏央道IC周辺の主な工業団地の開発動向、特に広域交通ネットワークが充実しているIC周辺は、産業用地のニーズが旺盛であり、今後、圏央道の県内区間の4車線化に伴い、さらに他県との競合を含めて激化することが予想されるとのことでした。未来産業基盤強化プロジェクト

は、こうした需要動向を受けて、県内各市町村の開発計画の中から、優先的に産業用地開発地区として県内全体で10地区程度の選定を予定しています。



本市では、境古河IC周辺開発として、同プロジェクトを活用し、日野自動車のマザー工場誘致に繋がった「名崎工業団地」、「仁連工業団地」に続く、新たな産業用地の開発が急がれます。

政友会では、この「未来産業基盤」としての新たな産業用地

開発をはじめ、「まちに活力、人に安心、魅力あふれる都市づくり」を進めるため、今後も議員・会派として政策提言を行えるよう、積極的に研修会・勉強会を開催し、市民の皆さまの要望に応えるべく日々邁進してまいります。



会派勉強会

鈴木 隆 佐藤 泉  
大島 信夫 鈴木 務  
小森谷博之 渡邊 澄夫

### 古河市公明党

市は、市民、企業などと一体となってSDGs（持続可能な開発目標）の達成に積極的に取り組む姿勢を市内外にアピールするため、「SDGs推進宣言」を発表しました。

古河市公明党は市の「SDGs推進宣言」を受けて、昨年9月18日、市長、担当部局との意見交換を行いました。

市は今後、市職員や市民を対象としたSDGsに関する学習の場をつくるほか、「JICA筑波」や姉妹都市など各種団体と連携し、啓発活動に取り組み、2030年の目標達成を目指し、S

DGsの各項目とひも付けた市総合計画の各施策の進捗を管理し、着実に推進していくとしています。

当会派は、これまで一貫してSDGsを推進してきました。今後も市部局と共に、さらなる推進に取り組んでまいります。



市長より説明を受ける古河市公明党

また、11月18日には52項目の「令和3年度予算要望書」を針谷市長に提出しました。

この要望書は「安心して暮ら

せる温かな街づくり」のために、そして「市民生活のさらなる向上」を目指し、日常の議員活動の中で市民の皆さまからいただいたご意見やご要望を形にすることを目的としています。

古河市公明党は今後も、住み良い街づくりを目指し全力で取り組んでまいります。



予算要望書の提出

高橋 秀彰 佐藤 稔  
霧見久美子 渡辺 松男